

対話型オンライン保育合同研究会 有料インターンに関する事項

事前オンライン面接	
開催日時（第3候補まで） ※1回30分程度 ※必要ない場合は空欄	第1候補：日時は個別に相談に応じます
	第2候補：
	第3候補：
有料インターン	
有料インターン受け入れ先 （複数記入可）	日暮里保育園
可能日時（第3候補まで）	第1候補：2月は3名の保育十種性受け入れの予定があるため、要相談。3月、または6月以降であれば日時は個別に相談いたします（4・5月は受け入れを控えさせていただきます）
	第2候補：
	第3候補：
1日あたりの受け入れ人数	2名
有料インターンをする際の 受け入れ条件・支給方法	①時給 ②交通費 ③宿泊費
	①時給・・・1,050円 ②交通費・・・実費支給 ③宿泊費・・・5,000円/1泊(上限)
持ち物・昼食準備等	(持ちもの)エプロン・三角巾・上履き・外靴・着替え (昼食)給食の希望を受付ます(1食350円)
服装、その他の指定条件	動きやすく汚れてもよい服(ジーンズ不可)

担当者より	
担当者	横井 美保子
保育理念	素朴に純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む
園ならではの取り組み	①一人ひとりを大切に保育 ②遊びを中心として保育 ③身近に自然を感じながら、自然への興味関心を広げていく ④心を育てる美味しい給食(食への関心を深める)
インターン時に 見て欲しいところ (3～5項目)	0歳12名、1歳22名、2歳26名、3歳～5歳30名ずつ全体で150名の子どもたちが暮らしています。園庭を中心に2階建ての建物は見通しがよく、誰がどこで何をしているかを感じながら、園舎を十分にいかして活動を保障していきたいと職員間で連携を図っています。子どもたちがやってみたいと思える活動を職員がどのように工夫して実現しようとしているかをみていただければとおもいます。
学生さんへメッセージ	東京ではありますが、大きな桜とケヤキの木のある園庭があります。四季折々で様々な遊びが繰り広げられている様子を是非、体験していただければと思います。

対話型オンライン保育合同研究会 有料インターンに関する事項

事前オンライン面接	
開催日時（第3候補まで） ※1回30分程度 ※必要ない場合は空欄	第1候補： 随時(ご希望者と相談の上決定します)
	第2候補：
	第3候補：
有料インターン	
有料インターン受け入れ先 (複数記入可)	王子本町保育園
可能日時（第3候補まで）	第1候補：随時(ご希望者と相談の上決定します)
	第2候補：
	第3候補：
1日あたりの受け入れ人数	1～2名
有料インターンをする際の 受け入れ条件・支給方法	①時給 ②交通費 ③宿泊費
	①時給・・・1,050円 ②交通費・・・実費支給 ③宿泊費・・・5,000円/1泊(上限)
持ち物・昼食準備等	・園の給食(1日350円) ・エプロン・三角巾 ・室内履き・外履き(スニーカー) ・着替え一式
服装、その他の指定条件	上： 自由(TPOにあったもの) 下： ジャージ・チノパン ・装飾品、マニキュア、ピアスは不可 ・髪が肩にかかる場合は結ぶ ・爪は短くきる

担当者より	
担当者	伊勢 絵里子
保育理念	～人づくり～ 素朴に純真に忍耐強く、子どもを軸として運動する絆を結び未来社会の人づくり、国づくりの基礎力を育みます。 未来の社会を担う子ども一人ひとりが大切にされる社会を私たち大人が目指し、支えられ育った子どもたちが同じように社会を続けていけるように時代に奔放されることなく、子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの幸せを追求していきます。
園ならではの取り組み	子どもたちのあそびを通して豊かな経験が得られるように私たち保育者は先走らずにつねに子ども自らの気づきを大切にしています。 自分の思いを素直に表現でき、受け止めてもらえる安心感に包まれながら保育園での生活が送れるように、一人ひとりを大切にじっくりと向き合い、好奇心や探究心が十分に発揮できるような環境づくりを目指しています。あそびを中心とし、子どもの興味や意欲に添った保育を目指すことで、自分で考え、自分で行動する力を育てています。
インターン時に 見て欲しいところ (3～5項目)	都内では数少ない広い園庭があり土、木、水、岩などに触れながら五感で自然を感じ、あそびを膨らませています。また園庭の門を開けると直結している大きな区立公園。夏は虫取り、冬は木の実や落ち葉拾い、芝生の丘でのかけっこなど自然があふれる環境で思いっきり身体を動かしながら、子どもたちはあそびを中心として伸び伸びと育っています。
学生さんへメッセージ	働く親たちが増える現代社会の中で保育園は保護者だけではなく子どもたちにとっても必要不可欠な場となっています。そんな中で未来を担う子どもたちを保護者や地域と力を合わせ、子どもたちが愛されていると確信しながら自己肯定感を身に付け社会の一員へと育てていく私たちの仕事はとても重責のあることです。しかしその分何事にも代えがたいやりがいを感じることもできます。皆さんが保育の道に進まれ一人でも多くの方にこの思いを感じ取っていただけたら嬉しいです。